

県小学生プログラミング大会

酒井さん(5^{土気小}年) 3連覇



表彰状を受け取る酒井さん(千葉市緑区)

児童のプログラミング能力を競う「全国選抜小学生プログラミング大会」(千葉日報社主催)の審査会が東京都内で開かれ、最優秀賞の千葉日報社賞に千葉市立土気小学校5年の酒井かのんさんが3年連続で選ばれた。

同大会は、プログラミング教育の加速化と総合的な人間力の育成が目的。「みんなの mirai」をテーマに、県内在住の児童らからインターネットで募集した。

審査会では、作品のプレゼンテーション動画を視聴した。酒井さんの作品「千葉一族探索マップ」は、千葉一族の伝統を継承せよと、千葉一族に関する建築物を巡る手書き地図アプリ。「千葉一族をみんなに知ってもらえるように」と思いを入れた。

酒井さんは3月に都内で

開かれる全国大会に出場する予定で、「昨年よりも良い賞を目指したい」と意気込んでいる。

このほかの入賞者は次の通り。(敬称略)

▽優秀賞 三橋康丞(習志野市立袖ヶ浦西小6年)、高橋悠杜(プログラミングスクールSwimy松戸五香校、小学5年)、石橋和奏(山武市立蓮沼小6年)▽努力賞 寺澤晃二(君津市立周西小6年)、大澤理生(君津市立周西小4年)、棟方旭(君津市立周西小2年)、立山一燈(iTeen市川妙典校、小学1年)、「フルーツポンチ」太田杏奈、本吉柑菜(大多喜町立大多喜小6年)、塚越壮真(君津市立周西小4年)